

最初に下記を記入、試験開始後本紙を切り離しなさい。

学籍番号	氏名
	模範解答

2015Prog0 中間試験 学生は※欄は記入しないこと

問題 1	問題 2	問題 3	問題 4	問題 5	問題 6	問題 7	合計
※ 1 8	※ 1 0	※ 1 4	※ 1 4	※ 1 4	※ 1 4	※ 1 6	※ 100

問題 1 ((1)～(6)各 2 点, (7)～(12)各 1 点, 計 18 点)

(1) イ 2 点	(7) ○
(2) エ 2 点	(8) ○
(3) ウ 2 点	(9) ×
(4-a) “%lf”, &x 完答で 1 点	(10) ×
(4-b) “%d”, (int)x 完答で 1 点	(11) ○
(5) {1.0, 1.0, 1.0, 1.0, 1.0} 2 点	(12) ×
(6) (int)x 2 点	※7-12 計 6 点

問題 5 (各 2 点、計 14 点)

- (1) __ “%d”, &n
- (2) __ i=0; i<n;
- (3) __ “%d”, &data[i]
- (4) __ i=0; i<n;
- (5) __ n-i-1
- (6) __ i=n-1; i>=0;
- (7) __ i

問題 6 (各 2 点、計 14 点)

- (1) __ {2, 3, 5, 7}
- (2) __ p[i]=0
- (3) __ while (1) または for(;;)
- (4) __ n%m[i] == 0
- (5) __ p[i]++ または p[i]=p[i]+1 等
- (6) __ n / m[i]
- (7) __ m[i], p[i]

問題 2 (各 2、計 10 点)	問題 3 (1) 各 2 点	(2) 各 1、計 14 点
(1) %8d	(1) ア 8.14	(2) B エ
(2) %-8d	(1) イ 8	(2) C サ
(3) %8.3f	(1) ウ 8.00	(2) D カ
(4) %E, %12.6E, %12E, %.6E	(1) エ 8	(2) E コ
(5) %+f, %+9.6f, %+9f, %+.6f	(2) A ク	(2) F オ

問題 4 (各 2、計 14 点)

(1) count = 0	(2) a%2 (3) と順不同
(3) b%2 (2) と順不同	(4) switch
(5) case 0 : printf(“両方とも奇数です¥n”); break;	(6) case 1 : printf(“片方が偶数です¥n”); break;
(7) case 2 : または default: printf(“両方とも偶数です¥n”); break;	※(5)(6)(7)の case は順不同。 ただし、printf 文との一貫性 が必要。(7)の case の代わりに default も可で、break は無く ても良い。

問題 7 (各 2 点、計 16 点)

- (1) __ i%15 == 0 (または i%3 == 0 && i%5 == 0)
- (2) __ FizzBuzz
- (3) __ i%3 == 0
- (4) __ Fizz
- (5) __ i%5 == 0
- (6) __ Buzz
- (7) __ %d
- (8) __ i